

ちびっくとコラム

フィンランドに伝わる 七夕伝説をご紹介します

ズラミスとサラミという仲の良い夫婦がいましたが、やがて別々に天にのぼり星となりました。二人の星はかなり離れていましたが、毎日毎日一生懸命に星くずを集め、千年もの時が経ち、光の橋が出来あがりしました。二人は光の橋を渡り、シリウスの星のところで再会し、涙を流しながら喜び抱きしめあいました。二人は今も夜空で輝きながら仲良く暮らしているそうです。(P.N. ミナフジコ)

